

「未来の森ミュージアム名品選～これが私たちの宝物～」を開催します ～3万点近い収蔵品の中から厳選された106点を展示～

八代市立博物館未来の森ミュージアムでは、平成3年の開館以来、八代ゆかりの文化財の収集・保管に努めてきました。これらは、八代市民にとって、郷土の歴史と文化を知る手がかりとなるのと同時に、未来を切り拓くヒントを与えてくれるかけがえのない宝物です。

本展覧会は、当館自慢の収蔵品の中から、さらに厳選した八代の歴史・美術・民俗にかかわる名品106件を展示するものです。本展覧会が、郷土の宝を見つめ直す機会となり、それらを未来へ継承する架け橋となれば幸いです。

1. 展覧会 令和5年度秋季特別展覧会・八代の歴史と文化32
「未来の森ミュージアム名品選～これが私たちの宝物～」
2. 会 期 令和5年10月20日(金)～12月3日(日)
休館日：毎週月曜日
3. 会 場 八代市立博物館未来の森ミュージアム特別展示室・第二常設展示室
4. 主 催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市・熊本日日新聞社
5. 特別協力 公益財団法人永青文庫
6. 観覧料 一般800円(640円) 高大生500円(400円) 中学生以下は無料
※()内は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方は無料

7. 主な出品作品

八代焼(高田焼)、肥後鐺、宮地手漉き和紙、八代搗剥、染革、河俣塗、豊臣秀吉や徳川家康、加藤清正、加藤^{まさかた}正方、松井興^{おきなが}長関連資料、西山宗因^{にしやまそういん}関連資料、肥後鍬など 106件

【特別公開】 剣豪宮本武蔵は、八代城主松井家2代興長と深い親交がありました。その様子を窺わせる「宮本武蔵書状」(熊本県指定重要文化財)は当館を代表する所蔵品です。この公開にあわせ、下記の“武蔵が描いた水墨画の名品”を特別公開します。

- ・「鶴図」(宮本武蔵筆、一幅) 及び 「芦雁図屏風」(伝宮本武蔵筆、六曲一双)
(いずれも国指定重要文化財、公益財団法人永青文庫所蔵、江戸時代初期)

問合せ 八代市立博物館未来の森ミュージアム 担当：山崎・宮原
TEL 0965-34-5555